

第3期行財政改革プログラム 個別取組工程表

取組番号	2-2-12 H30追加	取組項目名	RPAやAIなどの先進的なICTの活用の推進					
所管	総務	局	市政集中改革室 ICTイノベーション推進室 行政	部	行革推進担当 行政管理	課		
〔P〕 取組内容	実施内容	「市民サービスの向上」や職員の「働き方改革」を実現するため、RPAやAIなどの先進的なICTについて、先進自治体における導入事例等に関して情報収集を行ったうえで、導入の可能性のある業務を抽出し、費用対効果等を踏まえながら、導入を推進します。また、導入による効果が見込まれる業務がある場合には、実証実験を実施することなどにより、RPAやAIなどの先進的なICTの活用を推進します。						
	目標	H30	先進的なICTについて、情報収集及び庁内周知を行ったうえで、導入の可能性のある業務を調査する。導入の可能性のある業務について、費用対効果の観点などを踏まえながら、業務所管課と調整を行い、導入に向けた取組を推進する。					
		R1	導入による効果が見込まれる業務について、導入に向けた取組の推進。継続して情報収集及び庁内周知等を実施し、業務所管課とともに、導入に向けた検討・調整を進める。					
		R2	導入による効果が見込まれる業務について、導入に向けた取組の推進。					
〔D〕 実績・進捗状況	H30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・RPAの概要を全庁に通知するとともに、勉強会を開催し、庁内への周知を行った。</li> <li>・各課が検討した効果が見込まれる業務について、事業者の協力のもと検証を行い、2業務に対しRPAの導入に向けた実証実験を行った。</li> <li>・実証実験を行った業務について、一定の効果が見込まれるため、次年度に本格導入することとし、導入内容の整理を行った。</li> </ul>						
		H30の達成度	b	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成				
	R1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H30年度の実証実験を基に、文書管理事務及び後期高齢者医療事務に導入するRPAの構築を行った。</li> <li>・上記2業務について、平成31年1月から本格導入を行い3月までの実績を測定した。</li> <li>・これまでの年間処理件数から文書管理事務約273時間、後期高齢者医療事務約200時間が短縮できると想定している。</li> </ul>						
		R1の達成度	b	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成				
		H30～R1の達成度	b	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成				
	R2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度に構築した文書管理事務ロボットを局総務担当課など14課に横展開を行った。</li> <li>・後期高齢者事務ロボットについては前年度から引き続き利用した。</li> <li>・利用期間:令和2年7月～令和3年3月(9ヶ月)</li> <li>対象業務と処理件数等 後期高齢者医療事務 7,467件 医療年金課 文書管理事務 7,414件 局総務担当課等(16課)</li> </ul>						
		R2の達成度	c	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成				
		H30～R2の達成度	c	〔基準〕 a:上回って(前倒しで)達成 b:達成 c:概ね達成 d:未達成				
	行革効果額の見込み及び実績		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		見込み	-		-		-	
	実績	-		-		1.3 百万円		
〔C〕 評価	評価	B	〔基準〕 S:優良 A:良好 B:普通 C:不良					
	課題分析	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文書管理事務ロボットについて、処理する文書件数が所管課及び年度によって増減があることから年間処理件数が当初見込んでいた件数を大きく下回ったため削減時間目標を達成できなかった。</li> <li>・後期高齢者事務ロボットについては年間処理件数が前年度と比較してやや少なかったため当初見込んでいた件数を達成できなかった。</li> </ul>						
〔A〕 改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度からは新たにサーバ型RPAを導入し、費用増加を抑えつつ横展開をできるため、文書管理事務ロボットについては、所管課ごとの年間処理件数目標を下方修正し、さらに横展開を図ることで全体的な業務時間の削減を実現する。また、後期高齢者事務ロボットのほかに各所管課の業務に適したロボットを構築し業務処理時間の削減に取り組む。</li> </ul>							
備考								